



2016年9月30日
日本製紙株式会社

アイキャッチ性抜群で手にフィットする新形状チルド用液体紙容器 『NP-PAK Rock』を新発売

～「2016 東京国際包装展」出展、新たなチルド用液体紙容器の魅力を提案～

日本製紙株式会社(代表取締役社長:馬城 文雄)は、6面体スリム形状でアイキャッチ性、ハンドフィット性を向上させた新形状のチルド用液体紙容器「NP-PAK Rock(エヌピーパック ロック)」を発売します。



従来のチルド用液体紙容器に Window Panel(メッセージパネル)を2コーナー追加することで店頭でのアイキャッチ性を抜群に向上。製品差別化や製品価値訴求に最適な容器です。また、従来品に比べ容器本体を5mmスリム化し、左右どちらの手にもフィットする形状を実現しました。

「NP-PAK Rock」は注ぎ易さと再封性を追求するため口栓を標準仕様としています。また口栓は中蓋を無くすことで開け易くしたワンステップオープニング方式の軽量タイプを採用。容器容量は450mlと900mlの二種類をラインアップしています。

「NP-PAK Rock」は四国化工機株式会社製Fシリーズ充填機(UP-F07、UP-F14)に対応しており、新容器と従来形状容器の兼用運転や口栓有無、容量サイズが選択でき、設備投資リスクを抑えながら、お客様の製品ラインナップを広げる事が可能となります。

「NP-PAK ROCK」は、「Pure-Pak® Curve」、「Pure-Pak® Sense」とともに「2016 東京国際包装展」(2016年10月4日～7日 東京ビッグサイト)に出展し、チルド用液体紙容器の更なる魅力向上をご提案してまいります。ぜひ当社ブースへ足をお運び頂き、お手に取ってご覧ください。

当社は、企業グループ理念に掲げる「人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献」するため、カートン、充填機、メンテナンスの三位一体のシステム販売を展開し、お客様にあった最適なサービスと新しい製品の提案を行ってまいります。

本件に関するお問い合わせ

日本製紙株式会社 紙パック事業本部
営業開発部長 伊藤 一博
(TEL 03-6665-5565)

以上